

令和 8 年度  
Miracle Kids Gakugeidai  
入所者募集要項

株式会社 パソナフォスター

令和 7 年 11 月 25 日

## 1 概要

- ・設置目的 国立大学法人東京学芸大学こどもモードハウスを活用して放課後教育を実施し、児童の放課後を中心とした学校外教育に関する実践研究を推進する。
- ・設置期間 令和8年4月1日～令和10年3月31日（令和10年4月1日以降は未定）
- ・開所日 月曜日～金曜日
- ・保育時間 平日は授業終了後から18時  
長期休業日等の1日登所日は、9時から18時
- ・休所日 土曜日、日曜日、国民の祝日。その他、大学が構内立ち入りを制限する日
- ・場所 東京学芸大学こどもモードハウス  
小金井市貫井北町4-1-1
- ・対象児童 小学校1年生から3年生までの児童
- ・基準定員 1日あたり50名
- ・設置者 東京学芸大学
- ・運営会社 株式会社パソナフォスター

## 2 Miracle Kids Gakugeidai の理念・特徴

### ■ Miracle Kids Gakugeidai の理念

- 子ども時代に、子どもらしく過ごすことを大切にしながら、それぞれの子どもの成長や特性に沿った支援を行います。
- 「遊びは最高の学び」を合言葉に遊びの中で生まれてくる自主性や協働性、社会性等の育成を大切にします。
- 子どもに関わるスタッフ、保護者、大学生等の大人たちも学び合い、共に育つ場として肯定的・協働的な関係性を築きます。
- 東京学芸大学との連携・協力関係のもとに、大学内の人的・環境的資源を支援に活用するとともに、大学や地域の保育に関わる教育・研究に貢献できる場として「こどもモードハウス」を活用し、大学や地域との連携を図った保育活動と関連した研究活動を行います。

### ■ Miracle Kids Gakugeidai の特徴

- 学校や家庭と連携・協働しながら、子どもたちの豊かな育ちと学びを支えます。
- 放課後児童支援員や保育士、教員や、学生、地域の大人など様々な人々が関わり、連携し子どもたちの生活を支えます。
- 東京学芸大学構内の豊かな環境を活用し、様々な体験活動を実施しています。
- 大学やその他様々なネットワークを活用し、スタッフ研修を充実させ、支援の質を高めます。
- 「肯定的探求マネジメント」の手法を用いた運営により、個性豊かな子どもたちや多様な立場で集うスタッフの集団を学習する組織として機能させます。
- 放課後教育に関する実践研究を推進します。

### 3 Miracle Kids Gakugeidai での生活

#### (1) 一日の流れ (例)

##### ① 平日

下校後 登所 (着替え・身支度)

ミーティング

15:00 自由時間

16:00 集中タイム

(宿題等に集中して各自で取り組む)

16:25 おやつ

終わりの会

17:00 各自の方法で降所

18:00 保育終了

##### ② 学校休業日 (一日登所)

9:00 登所

ミーティング

10:00 集中タイム

自由時間・プログラム

11:00

12:00 昼食

昼休み

13:00 自由時間・プログラム

15:00 集中タイム

おやつ

帰りの準備

終わりの会

16:00 各自の方法で降所

18:00 保育終了

☆ 子どもたちの主体的な活動意欲を尊重し、話し合いをしながら柔軟に進めています。

① 学校給食のない日は、昼食 (お弁当・水筒) が必要です。

長期休暇中は、希望により宅配サービスの紹介もございます。

② 制服で登所後、私服に着替えます。動きやすい服をご用意下さい。

③ 学校休業日は、私服・リュック等、普段の服装で登所します。

④ 「集中タイム」は各自で目標を決めて進める時間です。平日は 20 分を 1 回、一日登所日は 30 分を 2 回 (午前・午後) 設けています。

⑤ 持ち物 (必ず全てのものに名前を記入して下さい)

- ・ 着替え (動きやすい服装、温度調節が可能な服・下着・靴下)
- ・ 遊び用の靴 (靴袋に入れて下さい)
- ・ 帽子
- ・ 着替え等を入れる持ち帰り用の手提げ袋
- ・ ハンカチ
- ・ 置き傘
- ・ 筆記具 (鉛筆、消しゴム) など

## (2) 生活の考え方

「みんなのちかい」に基づき、子どもたちが主体的に活動し、より豊かな放課後の時間を創造します。

### ■ Miracle Kids Gakugeidai でのルール

#### 「みんなのちかい」

わたしは 元気でまじめにやります。ハウスのルールを守ります。

#### 「ハウスのルール」

- 1、じぶんのことは じぶんでします
- 2、おたがい たすけあいます
- 3、くふうして とりくみます
- 4、きもちを つたえあいます
- 5、すすんでよいことをします

## (3) 各ご家庭との連携

### ① CoDMON（コドモン）

出欠確認、登降所時の安全管理、ご家庭との連絡、写真販売、イベントなどの参加確認、お子さまの様子をお知らせするために利用します。

### ② 連絡帳（パスポート）

ご家庭と Miracle Kids Gakugeidai の間で、お子さまの様子を共有するノートです。成長サポートツールとして、お子さま自身が予定管理や目標設定をする為に活用します。

### ③ 親子会（月に1回程度、休日を利用したイベントを予定）

親子で楽しめるイベントや、子どもの成長について学ぶ講座などを通して、他学年の保護者の方とも交流が出来ます。親子の絆を深めるだけでなく、大学の先生がいらっしゃることもございますので、情報共有の場としてぜひご活用下さい。

## (4) 小学校との連携

附属小金井小学校をはじめとする近隣小学校とは日常的に情報交換や共有を行い、お子さまの成長をサポートしています。

## (5) ケガや疾病への対応について

### ① ケガ・病気発生時の対応

病気やケガをしたときはすぐにご連絡し、対応の確認をします。体調不良により一人で降所が難しい場合はお迎えをお願いすることがございます。

### ② 出席停止時の登所

学校保健安全法施行規則第 19 条により出席停止となったときは登所できません。出席停止期間は、疾病ごとに異なります。

※ 罹患し、治癒した場合は登校許可証を提出して下さい。（学校に提出したものの複写も可とします。）

※該当する疾病の例（参考）

インフルエンザ、百日咳、麻しん（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（みずぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、腸管出血性大腸菌、感染症、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染病

### ③ 学級閉鎖時の対応

インフルエンザ等による学級閉鎖・学校閉鎖時は、Miracle Kids Gakugeidai のご利用はお控え下さい。

### ④ その他疾病等に対する対応

新型コロナウイルス感染症等の疾病により、状況に変化が生じた場合は、東京学芸大学の決定及び小学校の対応に準拠します。

### ⑤ 傷害保険

施設にて傷害保険に加入しております。保育中又は届け出た登降所の経路での事故やケガに対して適用されます。

## （6）安全対策

### ① 施設における安全対策

火災や地震を想定した避難訓練を定期的に行っています。また、大学構内で実施される大規模防災訓練にも参加し、安全対策への意識を高めています。

### ② 登所降所時の安全確保

バス降所の際は、バス停まで職員が付き添い、全てのお子さまが安全にバスに乗り降りしたことを確認します。徒歩で降所されるお子さまは、安全のため、予め決定したルートでの帰宅をお願いします。

### ③ 災害発生時の対応

台風の接近や大雪などの際、休所させていただく場合がございます。休所の際は事前にご連絡します。

## 4 個人情報の取り扱いについて

個人情報は、「個人情報保護法」に則って管理しています。

調査研究の結果を研究文書・報告書などにまとめ、公表する際には、明らかに個人が特定できると判断されるもの以外は、誓約書（ご入所の際に提出していただきます）に基づき、東京学芸大学、もしくは弊社の判断で使用する場合があります。

## 5 提出書類

(1) 入所申請書（お子さま1人1枚ずつの提出をお願いします。）

(2) 就労証明書（書式指定なし、当社HPからもダウンロード可。申込児童と同一世帯で就労している方全員分必要です。同時に申し込む兄弟姉妹がいらっしゃる場合は、2人目以降分は写しの提出でも可。）

(3) 保育料減免申請書等（減免制度利用者のみ）

市町村が発行した令和7年度（令和6年度収入分）の課税証明書もしくは非課税証明書（写しでも可、書類ご提出時点で最新のものをご用意ください）

## 6 申込方法

(1) 当社ホームページの申込フォームへ利用者情報及び希望利用曜日をご入力下さい。

(2) 申し込みに必要な上記ご提出書類を郵送にてお送り下さい。

**送付先：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 こどもモードハウス Miracle Kids Gakugeidai**

※提出書類、書類の記載内容の確認のため、ご連絡を差し上げることがございます。

**※令和 8 年 1 月 14 日(水) 必着**

## 7 結果通知

受付期間内に申請された方のうち入所が決定した方については、**令和 8 年 1 月 26 日(月)以降に郵送にて通知**します。

※応募者多数の場合は、研究上の理由から以下の優先順位で入所者を決定させていただきます。定員を越えた場合は、その時点での優先順位の方の中から抽選とします。

1. 令和 7 年度までの「Miracle Kids Gakugeidai」利用者（新 2・3 年生）
2. 令和 8 年度の新 1 年生
3. 令和 8 年度からの新規希望者（新 2・3 年生）

## 8 ご利用料金について（表記は全て税込）

### (1) 登録料及び年会費

初年度（登録料及び年会費）	¥16,500
継続年度（年会費）	¥11,000

### (2) 保育料※8 月は全日長期休業期間になるため、保育料を別途設定しています。

#### ①通常

登録利用日数	通常月	8 月
週 5 日	¥44,000	¥60,500
週 4 日	¥38,500	¥52,250
週 3 日	¥33,000	¥44,000
週 2 日	¥27,500	¥35,750
臨時利用・延長 30 分	¥550	¥550

#### ②世帯の市・都民税課税標準額：300 万円未満の世帯

登録利用日数	通常月	8 月
週 5 日	¥33,000	¥49,500
週 4 日	¥27,500	¥41,250
週 3 日	¥22,000	¥33,000
週 2 日	¥16,500	¥24,750
臨時利用・延長 30 分	¥550	¥550

(3) おやつ代

登録利用日数	おやつ代
週 5 日	¥3,300
週 4 日	¥2,640
週 3 日	¥1,980
週 2 日	¥1,320

(4) お支払い方法

ご登録いただいた口座より、保育料・おやつ代・プログラム参加費などを利用月翌月に引き落としさせていただきます。

(5) 制服や着替えを仕舞うために、お揃いの風呂敷を使用します。初回の保育料請求時に¥660(税込)をいただきます。

(6) パスポートを紛失した場合は、再発行のために¥1,100(税込)をいただきます。

(7) イベントに応じて参加費をいただくことがあります。

(8) 子どもの活動に合わせて、プログラムを開催します。参加を希望される方は、活動費としてプログラムごとに実費をいただきます。

【今年度開催クラブ例】

英語プログラム・手しごと部・科学実験クラブ・ボードゲームクラブなど

## 9 ご利用開始までのスケジュール

### ■入所申込説明会

12月5日(金)18:30~19:30 オンライン

12月12日(金)18:30~19:30 オンライン

### ■入所決定通知書発送(郵送にて通知)

2026年1月26日(月) 発送

### ■ご利用者様向け保護者説明会(入所後の流れについてご説明いたします)

2026年3月下旬 ※日程の詳細が決まりましたらお知らせします。

### ■ご利用開始日

【新1年生】 令和8年5月1日(金)

※附属小金井小学校の新1年生は、通学訓練のため5月からの利用開始となります。

※上記予定に変更や修正がでた場合は、都度ご連絡を差し上げます。

### 【問い合わせ先】

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 こどもモードハウス

Mail : [mk-gakugeidai01@pasonafoster.com](mailto:mk-gakugeidai01@pasonafoster.com)

Tel : 042-329-7795 担当 : 和田(わだ)

令和7年11月19日

保護者の皆様へ

東京学芸大学  
教育インキュベーション推進機構  
機構長 國仙 久雄

こどもモードハウスを活用した放課後等教育に関する実践研究への協力について  
(お願い)

謹啓 日頃より本学の教育・研究にご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

東京学芸大学では、平成27年度から大学内の施設「こどもモードハウス」を活用して、放課後を中心とした学校外教育のあり方に関する実践研究を行っております。

令和8年度につきましても、小学校低学年の児童を対象とした放課後教育を実施しながら、引き続き下記の研究テーマを中心に研究開発に取り組んでまいります。

●主な研究テーマ

- 1) 附属学校や地域の公立学校と連携した放課後カリキュラムの研究開発
- 2) 他附属学校園への展開を見据えた放課後児童クラブの運営モデルの研究開発
- 3) 放課後児童クラブへの学生・地域人材参加を利用した人材養成モデルの研究開発

なお、本研究及び学童の運営については令和10年3月31日まで実施予定です。令和10年度以降の本研究及び学童の運営については、今後、大学で検討を行う予定で現時点では未定の状況です。

昨今、共働き家庭の増加や地域社会のあり方の変容などによって、子どもたちが放課後に過ごす環境が大きく変わってきています。そのような中で、子どもたちが安心して過ごし、多様な人々と出会い、豊かな体験の機会を得られる放課後環境の整備は喫緊の課題です。また、それを支える人材養成システムの開発も重要です。そこで、ご参加くださるお子様や保護者の皆様のご理解とご協力を得て、有意義な放課後の時間を大切にしつつ、新しい放課後教育のあり方を示すモデル開発を行い、全国に発信できるよう、取り組んでいく所存です。本実践研究にご参加いただく皆様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白